

《報道資料》

バーゼル2006

パテック フィリップ ジュネーブ

2006年3月

洗練された複雑機能と時を超越したデザイン： 歴史的タイムピースの傑作にインスピレーションを得たパテック フィリップの新作

『You never actually own a Patek Philippe. You merely look after it for the next generation.』
(パテック フィリップを購入すること、それは所有することではない、将来の世代のために預かることである)
このメッセージは、パテック フィリップの最も重要な本質のひとつ、《時を超越した価値》をよく表している。

時を超越して動き続ける比類のないムーブメント。一時の流行に左右されない、時を超越したデザイン。
時を超越してその価値を保ち、その価値を増して行くタイムピース。

パテック フィリップのコンプリケーテッド・ウォッチは、時計製作史に輝かしい金字塔を打ち建て、今日も打ち建てつつある。シンプルで力強く、本質を追求したこれらのタイムピースは、真のクラシックとしての地位を確立している。

2006年の今年、パテック フィリップは、当社の名前と分かちがたく結びついたいくつかの代表的モデルに新たな解釈を試み、そのアイデンティティを強化した。視認性をさらに向上させ、デザインのディテールに改良を加えた。その結果は驚異的である。新しさと古典性、現代性と永続性の、これまでにない調和がここに実現したのである。

- ・パテック フィリップを象徴するタイムピースのひとつ、超薄型永久カレンダー。ケース径がわずかに大きく、文字盤のピュアなデザインとスリムさがより強調されたニュー・バージョンが登場。
- ・《有用なコンプリケーション機能》として空前の成功を収めた年次カレンダー。曜日と月表示窓が横に並んだ《ダブル・ギッシュ》を備えた新しいデザインで生まれ変わった。
- ・比類のない快適な操作感を誇る、著名なパテック フィリップのワールドタイム。今年はケース径が大きくなり、視認性がさらに向上した。新しいギヨシェ装飾の文字盤と特徴ある丸い時針も魅力だ。
- ・パテック フィリップの最も伝説的なモデルのひとつ、カラトラバ・クルー・ド・パリ。今年はケース径が大きくなり、超薄型のプロフィールがさらに強調されている。
- ・カラトラバ・コレクションには今年、パテック フィリップ初の婦人用機械式超薄型モデルが加わる。ギヨシェ・ナイトブルー文字盤を備え、セッティングされたダイヤモンドが輝きを添える。

一部のモデルにより大きなケース径が採用されたのは、決して《XL》サイズの流行に迎合したためではない。その意図は、手首の自然な形態的変化に対応することであった。高級時計製作は、常に最大の機能を最小のスペースに収めることを目指してきた。パテック フィリップが1839年の創業以来、独自の調和溢れる薄型のサイズを堅持しているのはこのためであり、これが当社の控え目であると同時に個性あるスタイルを創り出してきた。パテック フィリップの時を超越したエレガンスは、今日の時計愛好家のみならず、来たるべき将来の世代をも魅了し続けて行くことは疑いを容れない。